

令和7年度

青森県公立学校(特別支援学校) 教員採用候補者選考試験について

障がいや病気のあるこどもたちの希望に向かって、
共に歩む教員を募集しています！

特別支援学校では、障がいや病気の状態
に応じて、一人一人の能力を生かし、
小学校・中学校・高等学校に準じた
教科等の学習を行います。
高等学校・大学等への進学を目指す
こどもたちも支援します。

特別支援学校教諭の選考試験の教科(科目)及び採用見込数

特別支援学校教諭については、下記の教科(科目)を募集します。

校種等	教科(科目)		採用見込数
特別支援学校 教諭	小学部		約35人
	中学部	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語	
	高等部	国語、公民、地理歴史、数学、物理、化学、生物、音楽、美術、保健体育、家庭、英語、農業(作物・園芸・食品化学)、情報	

公立学校教員採用候補者選考試験の最新情報について

公立学校教員採用候補者選考試験の詳細については、以下をご確認ください。

県教育委員会ホームページ

(<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-kyoin/kyousai.html>)

県の教員採用公式X

(https://twitter.com/Aomori_kyoin)



〈県教育委員会
ホームページ〉 〈県の教員採用公式X
ホームページ〉

青 森 県 教 育 委 員 会

先輩教員からのメッセージ

- ① 特別支援学校教員になってよかったと思うこと
- ② 感動エピソード
- ③ 受験者へのメッセージ



(勤務歴)
青森県立盲学校 (H29～)

佐藤 茜 教諭 (平成29年度採用)

- ① 担当する児童生徒の数が少ないからこそ、一人一人に向き合うことができます。卒業後それぞれの職場での活躍を耳にする度、教員になってよかったと思います。
- ② 国家試験合格発表日、「先生の資料が分かりやすくて3年間ずっと使ってた。おかげで合格できた！本当にありがとう」とお礼を言われたことが忘れられません。
- ③ 生徒が身につけるべき力や、支援の仕方に悩むことが多いからこそ、変化や成長にやりがいを感じます。生徒のために何ができるか一緒に考えませんか？学校で待っています！



(勤務歴)
青森県立青森聾学校 (R4～)

宇野 かりん 教諭 (令和4年度採用)

- ① 障がい種により様々な指導方法、配慮があることを、こどもたちや先生方と過ごす中で、学び、実感できたことです。
- ② 国語に苦手意識をもつ生徒が、漢字で私の名前を書いてくれたことや、「べんきょうしたいです。おしえてくれてありがとうございます」と書いてくれたことが強く印象に残っています。
- ③ 毎日新しい気付きがあります。思いどおりにいかないことや、落ち込むこともたくさんありますが、きっと「教員になってよかった」と思えるはずです。

佐藤 朱里 教諭 (令和5年度採用)



(勤務歴)
青森県立青森第二養護学校 (R5~)

- ① 障がい特性上困難があることもたちが、分からない、できないと諦めずに、頑張る姿に元気をもらっています。子どもたちの「できた！」がある度、一緒に喜び合えることが幸せです。
- ② 卒業後、在学中は自信をもてなかった子が、今は目標に向かって励んでいると笑顔で教えてくれたことです。一緒に悩み、進んだ先で、元気に過ごせていることが嬉しかったです。
- ③ 一般企業を退職し、意欲をもって特別支援教育の世界に飛び込みました。大変なこともありますが、子どもたちの笑顔と元気な挨拶が日々の活力になっています。子どもたちの将来のため、一緒に働ける日を楽しみにしています。

太田 睦 教諭 (平成29年度採用)



(勤務歴)
青森県立青森第二養護学校 (H29~)
青森県立八戸第二養護学校 (R3~)

- ① 毎日子どもたちの成長を感じることです。「できるようになった！」と笑顔で教えてくれることが、私のパワーになっています。
- ② 入学当時行事への参加が難しかった子が、卒業式では「任せてください！！」と、自信をもって卒業証書を受け取ることができたとき、すごくうれしかったです。
- ③ 障がい特性に応じた指導という難しさはありますが、皆で相談し助け合うことができる職場です。みなさんと一緒に頑張れる日を楽しみに待っています。

渋谷 聖 教諭 (令和2年度採用)



- ① 専門的な知識が必要ですが、頼りになる先輩方いろいろなと教わりながら、チームで仕事をすることができるとです。
- ② 転勤するとき、担当した児童から手作りのプレゼントと手紙をもらいました。「先生、大好きです」の言葉に感動して、思わず泣いてしまいました。
- ③ 教員は、子どもたちと関わりながら、自分自身も成長できる素敵な職業だと思います。採用試験を突破して、一緒に仕事ができることを楽しみに待っています。

県立特別支援学校の設置学部及び所在地

障害区分	学 校 名	設置学部	所在地
視覚障害	県立盲学校	幼・小・中・高	青森市
	八戸盲学校	小・中	八戸市
聴覚障害	青森聾学校	幼・小・中・高	青森市
	弘前聾学校	幼・小・中	弘前市
	八戸聾学校	幼・小・中	八戸市
肢体不自由	青森第一養護学校	小・中	青森市
	弘前第二養護学校	小・中・高	弘前市
	八戸第一養護学校	小・中・高	八戸市
病弱	青森若葉養護学校	小・中・高	青森市
	浪岡養護学校	小・中・高	青森市

障害区分	学 校 名	設置学部	所在地
知的障害	青森第二養護学校	小・中・高	青森市
	弘前第一養護学校	小・中・高	弘前市
	八戸第二養護学校	小・中	八戸市
	黒石養護学校	小・中・高	黒石市
	青森第二高等養護学校	高	青森市
	八戸高等支援学校	高	八戸市
知的障害 及び 肢体不自由	青森第一高等養護学校	高	青森市
	森田養護学校	小・中・高	つがる市
	七戸養護学校	小・中・高	七戸町
	むつ養護学校	小・中・高	むつ市

※幼：幼稚部、小：小学部、中：中学部、高：高等部の略です。

小学校・中学校・高等学校と特別支援学校との併願

以下のいずれかの場合に、電子申請にて併願希望「あり」を選択することにより、併願を認めます。詳細については、実施要項7ページ、VIをご覧ください。

小学校	↔	特別支援学校	小学部
中学校	↔	特別支援学校	中学部（同一教科に限る）
高等学校	↔	特別支援学校	高等部（同一教科（科目）に限る）

Q&A

Q1 特別支援学校を受験するには、特別支援学校（養護学校等）教諭普通免許状が必要ですか。

A1 原則小学校・中学校・高等学校のいずれかの教諭普通免許状があれば受験ができます※。ただし、採用後できるだけ早い時期に特別支援学校教諭普通免許状を取得していただきます。※小学部については、中学校教諭普通免許状の所持、又は幼稚園教諭普通免許状を所持し、かつ実施要項8ページVII1の受験資格を満たした場合も、受験ができます。

Q2 特別支援教育の知識がないので、不安です・・・。

A2 特別支援学校受験者及び併願希望者は、第一次試験において「特別支援教育に関する事項」の受験が必須になります。しかし、採用後は様々な研修を受ける機会があり、実践的、専門的な知識・技術を習得できます。また、周りの先生方が親身にサポートしますのでご安心ください。

Q3 人事異動はどのように行われますか。

A3 本人の希望（勤務地、障がい種）、経験、特性などを勘案して行われます。また、小・中学校及び高等学校との人事交流（期限付き）も推進しております。